

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久市内山地区における田舎体験イベント拡充事業
事業主体 (連絡先)	佐久市内山地区活性化協議会 (佐久市観光協会内 TEL0267-62-3285)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,097,219 円 (うち支援金 : 797,000 円)

事業内容

年4回(春夏秋冬)の田舎体験イベントを実施し、内山地区内における交流人口を創出する事業を実施していくなかで、地域発信型観光コンテンツの充実を図ることで、交流と定住による地域活性化に取り組んだ。

田舎体験イベントは地域おこし協力隊のコーディネートのもと、地域の自然散策体験、地元イベント(百八灯、コスモスまつり)への参加、地域伝統文化体験(そば打ち体験、しめ縄作り)など関係団体、地域住民の方と協働で開催した。イベント開催にあっては、ウェブサイトでの広告宣伝により首都圏の家族を中心に募集が行えた。また体験レポートを作成し参加者をはじめとした、地域のファン作りにつなげた。



【イベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①交流人口の創出による内山地域全体の活性化を図る。
- ②故郷に愛着を持つ田舎体験イベントのホストの育成。
- ③内山地域の自然・文化の都市部への広告宣伝

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①魅力ある田舎体験イベントを通じて佐久市内山地域を知ってもらうことができた。天候不順で今年度、開催できなかったイベントも新たな着地型観光プランとして、今後も活用していきたい。
- ②田舎体験イベントが地域住民の方と協働で開催され、地元の方と首都圏を中心とした参加者との交流が図れた。また、伝統的な行事が継承され、地域住民のやりがい・生きがいづくりの場が形成された。
- ③webサイトなどへの広告宣伝により東京・神奈川・埼玉などからの参加申し込みがあり、イベントに複数回申し込みする方がでるなど地域へのリピーターも生まれた。

※自己評価 【C】

【理由】天候の不順により2回の体験イベントが縮小の開催となり、参加者の数が45名と想定より少なかった。今後も地元と協働した魅力あるイベント作りによる、交流人口の創出による地域活性化を図っていく必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業の継続的に開催していくことで、交流人口の増加、田舎体験イベントのホストの育成により、内山地域の活性化とシビックプライドの醸成を推進し、より魅力的な田舎体験イベントの企画・開催につなげるといった、地域活性化を好循環化して行く。

また、本事業が佐久地域の山村地域のモデルプランとなり、事業収益からイベントを運営できる体制づくりを進める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある